

授業科目 身体障害作業療法評価学

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	作業
泉 良 太		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 身体障害領域における作業療法評価の基本的な知識を習得する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1 身体障害における作業療法評価について説明できる。 2 一般情報収集に必要な内容を列挙できる。 3 各検査の意義と方法について説明ができる。 4 代表的疾患に特有な検査・評価法について説明ができる。 5 必要とされる検査の結果および情報を統合解釈し、病態を的確に把握することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	身体障害における作業療法評価総論、			1～2	講義, 実習
2	一般情報収集の意義			3～5	講義, 実習
3	面接、観察手法			3～5	講義, 実習
4	他職種からの情報収集			3～5	講義, 実習
5	感覚検査方法と結果解釈			3～5	講義, 実習
6	感覚検査方法と結果解釈			3～5	講義, 実習
7	感覚検査方法と結果解釈			3～5	講義, 実習
8	脳神経検査方法と結果解釈			3～5	講義, 実習
9	脳神経検査方法と結果解釈			3～5	講義, 実習
10	脳神経検査方法と結果解釈			3～5	講義, 実習
11	脳神経検査方法と結果解釈			3～5	講義, 実習
12	身体障害の評価			3～5	講義, 実習
13	身体障害の評価			3～5	講義, 実習
14	身体障害の評価			3～5	講義, 実習
15	まとめ			1～5	講義, 実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	新・徒手筋力検査法		Helen J. Hislop 他	協同医書出版社	2008・7,500円
	ベッドサイドの神経の診方		田崎義昭 他	南山堂	2004・7,200円
参考書	神経局在診断		Peter Duus	文光堂	1999・9,000円
	分担 解剖学 1		森 於菟 他	金原出版	1982・9,300円
その他の資料		プリント			
【評価方法】 出席 期末試験		【履修上の留意点】 受講にあたり、骨・筋・神経系を中心とした解剖生理学的知識が要求される。			